

## 蘇南高校 卒業式 あいさつ ( 要 旨 )

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様、お子様の健やかな成長・晴れの門出心よりお喜びとお祝いを申し上げます。先生方には、少子化など様々な困難の中で卒業にお導き頂いた事に敬意と感謝を申し上げます。

さて卒業生の皆さん、3年間通った蘇南高校の校舎とも今日でお別れですが皆さんの胸の中には天白台から見た雄大な景色と共に、高校生活での様々な思い出が走馬灯のように蘇っているのではないのでしょうか。今、その思い出を胸に社会に向かって飛び立つ時を迎えました。社会に出れば人生を生きていく上では多少の苦労は付きものですが、その苦労を乗り越えるための術や力を、蘇南高校の3年間で身に付けたはずです。自信を持って社会に力強くはばたいてたいてくれる事を期待しています。

社会科の授業で習ったと思いますが、かのアメリカの公民権運動の指導者でノーベル平和賞を貰ったキング牧師は、どんな苦しい時でも「I have a dream. 私には夢がある。」と言って困難に立ち向かっていきました。日本でも幕末の思想家で、明治維新に活躍した多くの人物に影響を与えた吉田松陰は、「夢なきものに成功なし」と夢の大切さを説いています。皆さんにも夢や希望がある筈です。社会に出ても夢や希望に向かって羽ばたき続けて欲しいと思います。長い人生ですので、時には道に迷うでしょうし、羽を休めることも必要でしょう。しかし、決して社会という荒波に飲まれて自分を失うことのないよう、自分が見定めた方向に向かって羽ばたきを続けて下さい。皆さんには、それが出来る若さと可能性があります。自身を信じて目指すゴールもしくは納得できる場所へ降り立ち、そしてこれからの日本と地域を担う若者として活躍してくれる事を期待してやみません。

地元の市町村長の代表としてひとつだけお願いをしておきます。それは、皆さんの若い力を故郷（ふるさと）のために貸して欲しいということです。方法はそれぞれで構いません。故郷に住むこと、故郷で働くこと、故郷に戻って来ること、或いは故郷に関わること、故郷を思うことでも構いません。今皆さんの故郷は、どの市どの町どの村も若い人の力を必要としています。これからも故郷に繋がっていて下さい。繋がっている限り故郷は皆さんをいつでも応援していきますので、その故郷に皆さんも何かしらの方法で力を寄せて頂けたらとお願いをするものです。

そんなことを胸の片隅に置いて頂き、そして母校や先生方、お父さんお母さんの姿を臉に焼き付けて、人生の中で最も光り輝く青春時代を突き進んで行って欲しいと思います。本日卒業される全ての皆さんが大いに輝き活躍し、それぞれの人生が花開かんことをお祈りしながらハナムケの言葉と致します。 今日はおめでとう。

(R8.3.2 蘇南高校体育館)